

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公開番号】特開2016-156996(P2016-156996A)

【公開日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-052

【出願番号】特願2015-35353(P2015-35353)

【国際特許分類】

G 10 L 15/22 (2006.01)

G 06 F 3/16 (2006.01)

G 10 L 15/00 (2013.01)

G 10 L 21/12 (2013.01)

【F I】

G 10 L 15/22 460Z

G 06 F 3/16 650

G 10 L 15/00 200G

G 10 L 21/12

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月17日(2018.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

実施形態によれば、電子機器は、マイクを介して音声信号を受ける入力部と、ディスプレイと、前記音声信号の録音、録音された前記音声信号の音声認識、および音声区間を前記ディスプレイの画面上に表示する処理を少なくとも実行する制御部と、を具備する。前記制御部は、前記音声信号の録音中に、前記音声信号に含まれる第1音声区間を示す第1オブジェクトと、前記第1音声区間の後の第2音声区間を示す第2オブジェクトを時系列に並べて前記画面上に表示し、前記第1音声区間の前記音声認識に対応する第1文字列を、前記第1音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第1オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示し、前記第2音声区間の前記音声認識に対応する第2文字列を、前記第2音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第2オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示し、前記第1オブジェクトが前記画面上から消える位置にあると判断した時は前記第1オブジェクトの音声認識をスキップして、後続する前記第2オブジェクトの少なくとも一部を音声認識する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

マイクを介して音声信号を受ける入力部と、  
ディスプレイと、

前記音声信号の録音、録音された前記音声信号の音声認識、および音声区間を前記ディスプレイの画面上に表示する処理を少なくとも実行する制御部と、

を具備し、

前記制御部は、

前記音声信号の録音中に、前記音声信号に含まれる第1音声区間を示す第1オブジェクトと、前記第1音声区間の後の第2音声区間を示す第2オブジェクトを時系列に並べて前記画面上に表示し、

前記第1音声区間の前記音声認識に対応する第1文字列を、前記第1音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第1オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示し、

前記第2音声区間の前記音声認識に対応する第2文字列を、前記第2音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第2オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示し、

前記第1オブジェクトが前記画面上から消える位置にあると判断した時は前記第1オブジェクトの音声認識をスキップして、後続する前記第2オブジェクトの少なくとも一部を音声認識する電子機器。

**【請求項2】**

前記画面上から前記第2音声区間が優先順位付け指定されると、前記第1オブジェクトと前記第2オブジェクトの前記画面上の表示位置に係わらず前記第2オブジェクトが先に音声認識される請求項1記載の電子機器。

**【請求項3】**

前記制御部は、前記第1オブジェクトと前記第2オブジェクトの低域の音声成分と中域の音声成分とを観察し、両音声成分ともフォルマント成分が存在することを検出しない場合、当該オブジェクトの音声認識を行わない請求項1記載の電子機器。

**【請求項4】**

前記制御部は、前記第1文字列を前記第1音声区間の長さに応じた態様で前記画面上に表示し、前記第2文字列を前記第2音声区間の長さに応じた態様で前記画面上に表示する請求項1記載の電子機器。

**【請求項5】**

前記制御部は、前記第1オブジェクトまたは前記第1文字列と、前記第2オブジェクトまたは前記第2文字列を音声認識の未処理、処理中、処理完了に応じた態様で前記画面上に表示する請求項1記載の電子機器。

**【請求項6】**

マイクを介して音声信号を受ける入力部と、ディスプレイと、前記音声信号の録音、録音された前記音声信号の音声認識、および音声区間を前記ディスプレイの画面上に表示する処理を少なくとも実行する制御部と、を具備する電子機器の方法であって、

前記音声信号の録音中に、前記音声信号に含まれる第1音声区間を示す第1オブジェクトと、前記第1音声区間の後の第2音声区間を示す第2オブジェクトを時系列に並べて前記画面上に表示し、

前記第1音声区間の前記音声認識に対応する第1文字列を、前記第1音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第1オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示し、

前記第2音声区間の前記音声認識に対応する第2文字列を、前記第2音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第2オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示し、

前記第1オブジェクトが前記画面上から消える位置にあると判断した時は前記第1オブジェクトの音声認識をスキップして、後続する前記第2オブジェクトの少なくとも一部を音声認識する方法。

**【請求項7】**

前記画面上から前記第2音声区間が優先順位付け指定されると、前記第1オブジェクトと前記第2オブジェクトの前記画面上の表示位置に係わらず前記第2オブジェクトが先に音声認識される請求項6記載の方法。

**【請求項8】**

前記第1オブジェクトと前記第2オブジェクトの低域の音声成分と中域の音声成分とを観察し、両音声成分ともフォルマント成分が存在することを検出しない場合、当該オブジェクトの音声認識を行わない請求項6記載の方法。

**【請求項 9】**

前記第1文字列を前記第1音声区間の長さに応じた態様で前記画面上に表示し、前記第2文字列を前記第2音声区間の長さに応じた態様で前記画面上に表示する請求項6記載の方法。

**【請求項 10】**

前記第1オブジェクトまたは前記第1文字列と、前記第2オブジェクトまたは前記第2文字列を音声認識の未処理、処理中、処理完了に応じた態様で前記画面上に表示する請求項6記載の方法。

**【請求項 11】**

マイクを介して音声信号を受ける入力部と、ディスプレイと、前記音声信号の録音、録音された前記音声信号の音声認識、および音声区間を前記ディスプレイの画面上に表示する処理を少なくとも実行する制御部と、を具備するコンピュータにより実行されるプログラムであって、

前記音声信号の録音中に、前記音声信号に含まれる第1音声区間を示す第1オブジェクトと、前記第1音声区間の後の第2音声区間を示す第2オブジェクトを時系列に並べて前記画面上に表示する手順と、

前記第1音声区間の前記音声認識に対応する第1文字列を、前記第1音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第1オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示する手順と、

前記第2音声区間の前記音声認識に対応する第2文字列を、前記第2音声区間の前記音声認識が完了したときに、前記第2オブジェクトに関連付けて前記画面上に表示する手順と、

前記第1オブジェクトが前記画面上から消える位置にあると判断した時は前記第1オブジェクトの音声認識をスキップして、後続する前記第2オブジェクトの少なくとも一部を音声認識する手順と、

を前記コンピュータに実行させるプログラム。

**【請求項 12】**

前記画面上から前記第2音声区間が優先順位付け指定されると、前記第1オブジェクトと前記第2オブジェクトの前記画面上の表示位置に係わらず前記第2オブジェクトを先に音声認識する手順を更に具備する請求項11記載のプログラム。

**【請求項 13】**

前記第1オブジェクトと前記第2オブジェクトの低域の音声成分と中域の音声成分とを観察し、両音声成分ともフォルマント成分が存在することを検出しない場合、当該オブジェクトの音声認識を行わない請求項11記載のプログラム。

**【請求項 14】**

前記第1文字列を前記第1音声区間の長さに応じた態様で前記画面上に表示する手順と、  
前記第2文字列を前記第2音声区間の長さに応じた態様で前記画面上に表示する手順を更に具備する請求項11記載のプログラム。

**【請求項 15】**

前記第1オブジェクトまたは前記第1文字列と、前記第2オブジェクトまたは前記第2文字列を音声認識の未処理、処理中、処理完了に応じた態様で前記画面上に表示する手順を更に具備する請求項11記載のプログラム。